

第1回例会 代表質問から



会派清新
荒木 文一

人口減少対策について

質問 市民全体で人口減少課題に
対峙していくため、どのような視
点が必要と考えるか伺う。

答弁 人口減少には自然減と社会
減の観点があり、両方の対策が重
要と考えます。住民基本台帳では、
平成24年の351人となっていた
社会減が昨年は66人と減少し、こ
れまでの施策の積み重ねが効果を
上げていると考えます。29年度か
らは、新築住宅助成事業を創設し
移住や定住を促進していきます。

新日本スーパーマーケット協会 への職員派遣の終了について

質問 本市の商品PRを含む販売
促進に協力いただいたと思われる
が、派遣終了後、継続的な協力関
係が保たれるのか伺う。

答弁 平成26年度から3年間で3

人の職員派遣を実施し、販路拡大
や市内事業者の育成にさまざまな
ご協力をいただくとともに、職員
の民間ノウハウの取得や人材ネッ
トワークの構築につながったと認
識しています。今後は、引き続き
協会の賛助会員となり、継続的な
協力関係に努めていきます。

企業誘致について

質問 今回誘致が実現した運送会
社については、雇用にもつながり
新たな好影響が期待できるが、製
造業の誘致についても新たな展開
があれば伺う。

答弁 製造業の誘致につきまして
は、市内での事業化に関心を持つ
ていただいている企業もあります
が、一朝一夕に結果が出るもので
はないと考えています。特に食品
関連製造業については、農業振興
にもつながることから重要と認識
し、引き続き事業者とのネット
ワークを生かしながら誘致実現に
向けて活動を進めていきます。

外国人労働者の受入れについて

質問 国策として単純労働者の受
け入れを是としていない現状や治

安維持の懸念から簡単ではない
が、雇用のミスマッチや慢性的な
人手不足解消に向けて、マンパワ
ーの受け入れに対する考えを伺う。

答弁 ご指摘のとおり特定業種の
人手不足は全国的に拡大していま
す。外国人労働者につきましては
現在の出入国管理及び難民認定法
において、専門的、技術的分野以
外の単純労働者としての受け入れ
は厳しいのが現状です。今後の法
整備を伴う要件緩和に注視しなが
ら、市として支援していきます。

新築住宅助成事業について

質問 新制度の予算化に反対する
理由はないが、近隣の住民の奪い
合いとなる傾向には、極めて批判
的な立場と言わざるを得ない。新
規事業を立ち上げる趣旨を伺う。

答弁 新設の趣旨は、人口減少対
策として若者世代、アクティブシ
ニアの取り込み、市民の転出抑止、
移住・定住促進を柱としています
が、一定の性能要件を満たした住
宅も対象にすることで、次代を見
据えた高品質住宅建築の促進施策
としても期待しています。近隣自
治体との奪い合いを避けなければ

ならないとのご指摘は同意見であ
りますので、制度設計においても
趣旨を踏まえた内容としています。

市立病院の経営改善について

質問 経営の立て直しが急務と考
えるが、平成29年度当初から見込
まれる市民に分かりやすい個別的
改善事項とともに、経営改善の実
質的な司令塔は誰なのか伺う。

答弁 昨年末に診療報酬等算定向
上プロジェクトを立ち上げ、さま
ざまな検討を進めています。

29年度からは、常勤医師体制が
現行の36人から2人増員となり、
整形外科、眼科医師がそれぞれ1
人ずつ増えることから手術件数が
増え、入院患者数の増加も見込め
ます。また、理学療法士の増員に
より、昨年3月に開設した地域包
括ケア病棟のフル活用が可能な体
制が整います。さらには新たな施
設基準の取得やランクアップへの
取り組み、民間企業への職場健診
の呼びかけ、診療材料のベンチマ
ーの導入など、できることはすぐ
に実行していきます。新たな経営
改善に向け、病院長を司令塔とし、
全職員で取り組んでいきます。